

## 志染っ子！みんなで最高！運動会！

今年の近畿地方の梅雨入りが発表されました。平年より8日早く、5月中の梅雨入りは10年ぶりとのこと。これからしばらくの間、雨の季節が続きますが小学校のまわりの田んぼでは田植えの準備が進んでいます。学校田でも来週には代掻き、再来週には田植えを予定しており、稲作にとっては恵みの雨の時期ともいえます。児童は4月からの2か月の間で成長を続けています。6月は曇りや雨の日が多いですが本格的な夏の暑さがやってくる前に勉強に励むことのできる期間です。この期間にさらに成長を重ねて1学期の締めくくりに向かってほしいです。

そのような中、志染小では第147回運動会を実施いたしました。新型コロナウイルス感染症対策の制限のあった4年間を越えて、当日は制限のない形の運動会を再開することができました。保護者をはじめ来賓のみなさま、地域の方々に子どもたちの躍動する姿をご覧いただき、拍手や声援があり、とても活気のある1日となりました。ありがとうございました。また、PTA役員をはじめPTA会員のみなさまには計画の段階から当日の写真撮影など大変お世話になりました。今年はPTA演技を再開することができ、子どもと大人と一緒に盛り上がる姿を見ることができ改めて地域とともにある学校のすばらしさを感じました。子どもたちは『志染っ子 心を一つにLet's Go ～全力 協力 みんなで最高！～』のスローガンのもと、各種目で大いに力を発揮して競い合い、表現種目では練習の成果を発揮し、低学年は笑顔はじける表現で高学年は力強く生き生きとした表現で心に残る演技をそれぞれ披露しました。スローガンのとおり児童は心を一つに懸命に走り、互いに励ましあって「志染っ子」の熱い気持ちが発揮された運動会でした。また、異学年の子どもと一緒に活動するスマイル班でのチーム分けにより上級生のリーダーが下級生の面倒を見、下級生は「大きくなったら自分もリーダーになって…」と上級生の背中を見る姿が見られます。小規模校の良さを活かし、友だち・保護者・地域の方・教師など多くの人との関わりのなかで、様々な体験を通じて成長することをめざしています。今後とも保護者や地域のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

先日、私は屋久杉について学ぶ機会がありました。この木は世界遺産に登録されている鹿児島県の屋久島に自生しているスギで、寿命が2000年を超える巨木が見られるそうです。私はこのような屋久杉が日本の一般的なスギとは違う種類だと思っていましたが、実は屋久杉は日本の他の地域に分布しているスギと同じだそうです。屋久島は面積のほとんどを栄養が乏しい花崗岩という岩から成っており、屋久杉は大変成長の遅いスギだそうです。ゆっくり育つ屋久杉は材質が緻密で樹脂分が多く、腐りにくいので長生きすると考えられ、成長は遅いがスギとしては長命になるそうです。条件の整わないところでも、ゆっくりとした育ちが大きな育ちに繋がっていることを知り、何か人の育ちにも通じると思いました。志染の子どもたちも自分のペースであせらずじっくりと成長していったらいいと思います。

全校生、PTA最終決戦(綱引き)



心一つに、志染っ子ソーラン！



また、屋久島には「洋上のアルプス」といわれる九州最高峰の宮之浦岳があり、海岸線から標高1936mの頂までの間に様々な樹木におおわれていて、サンゴ礁の海から、雪の降る頂上まで植生が垂直分布し、南北2000kmにおよぶ日本列島の自然がつめこまれています。このように、一つのことを知るとそれが他の知識と繋がって勉強が広がりをもたらします。このような学習をめざして教育活動を進めたいと思います。

校長 前田 義典